

令和 元年度

# 事業報告書



社会福祉法人 永光会

特別養護老人ホーム清流の郷  
管理部  
特養部  
デイサービス部



## もくじ

|                       |           |       |
|-----------------------|-----------|-------|
| 1.はじめに                | • • • • • | 1     |
| 2.管理部                 | • • • • • | 3     |
| (1)職員健康診断等状況          | • • • • • | 4     |
| (2)施設不在者投票・期日前投票      | • • • • • | 4     |
| (3)「洪水時の避難確保計画書」提出    | • • • • • | 4     |
| 3.特養部                 | • • • • • | 5     |
| 1)介護課                 | • • • • • | 7     |
| 2)看護課                 | • • • • • | 8     |
| 3)栄養調理課(給食状況)         | • • • • • | 8     |
| (1)身体拘束等適正化に関する研修会    | • • • • • | 9     |
| (2)リスクマネジメント          | • • • • • | 9     |
| (3)感染症対策委員会           | • • • • • | 10    |
| (4)実習・研修・体験学習受入状況     | • • • • • | 10    |
| (5)権利擁護               | • • • • • | 10    |
| 4.ショートステイ             | • • • • • | 11    |
| 5.デイサービス部             | • • • • • | 13    |
| 1)介護予防・総合事業           | • • • • • | 14    |
| 2)介護課                 | • • • • • | 15    |
| 3)看護課                 | • • • • • | 15    |
| 6.付表                  |           |       |
| 管理部 (表2-1)～(表2-5)     | • •       | 16～19 |
| 特養部 (表3-1)～(表3-7)     | • •       | 20～23 |
| ショートステイ (表4-1)～(表4-3) | • •       | 24～25 |
| デイサービス部 (表5-1)～(表5-5) | • •       | 26～28 |
| 7.整備関係整備年表            | • • • • • | 29    |



## 1. はじめに（総括）

今年度、清流の郷の施設運営方針は、

「入居してよかったです。利用してよかったです」（利用者）

「お願いしてよかったです」（家族）

「働いていて楽しい」（職員）

「近くにあって助かった」（地域）

であった。各項目について総括していきたい。

まず、利用者と家族への支援であるが、特養ベッド稼働率 95.8%、短期入所 89.5% と、目標を達成することはできなかった。最近の傾向は、国の方針として要介護度が高い方の入居が優先されるため、医療依存度が高い方が多くなっている。結果、入院者や退所される方も多く、稼働率に影響している。今後は看取り介護支援や健康状態把握の充実を図り、稼働率を上昇させていきたい。

通所介護は目標を上回る利用者数となり、家族や関係機関との連携が実を結んだ結果だといえる。予防介護の方が要介護状態に変更になったのも要因の一つである。

また、栄養調理課による様々な工夫も利用者支援の大きなひとつである。食を通じて、喜びや笑顔を作り出すよう、ミキサー食の成型や色付け等の工夫、またバーミング形式の食事提供等を実施して、利用者から喜ばれた。清流の郷の食事は本当においしいとの入居者・利用者からの声が多い。

次に、職員への支援で、今年度は色々な雇用について実施をしてきた。

まず、来年度の就職を希望する方とその友人、2人のスリランカ国籍のアルバイトを採用した。1人は来年度、清流の郷の介護職員として活躍してくれることを期待している。また、派遣や通常介護業務とは違う形態の採用等、今後の職員採用の参考になる年度であった。

働き方改革による有給休暇取得推奨や日課の見直し等を実施したが、前よりも働きやすいという声も聞こえ、今年度は退職者も少なかった。来年度以降も職員の働きやすさ、働き甲斐を考えた職場づくりを目指していきたい。

地域への支援であるが、取組としては大きな成果は得られなかった。地域性もあり、施設に出向いて実施する取組については大きな制限があるため、困難なことが多い。来年度以降は施設を飛び出して何か地域貢献できることがないか、探っていきたい。

なお、今年度渋川市のハザードマップが改訂され、清流の郷が洪水時避難地域に指定された。避難計画はすでに作成して、市へ提出している。来年度、計画をもと

に避難訓練を実施していくとともに、地域との連携も図っていきたい。

最後に、現在3月末時点では、新型コロナウイルス感染の拡大が全国に進んでいる。国や県からの介護施設指針を踏まえ、清流の郷では2月末から家族の面会制限、職員の行動自粛を実施している。また、職員研修会や各団体の総会等が中止・延期となっており、今後の開催も未定である。

利用者の行事等も現在検討中ではあるが、状況に応じては中止や延期せざる負えない。利用者や家族には不便や淋しい思いをさせてしまっているが、事態の収束が長引きそうであるため、今までにはない工夫やアイデアで、乗り切っていこうと検討中である。

そのひとつとして、テレビ電話を使った利用者と家族との面会を計画しており、実験的に実施した利用者と家族からは共に好評であるため、今後、希望する方への対応を拡げていきたい。

今後も、このウイルスは益々広がりをみせる勢いではあるが、まずは施設に持ち込まないことを最大目標として、現在、職員が一丸となって対策を講じている。早期の収束を祈るばかりである。

## 2. 管理部

常に変化する福祉・介護業界で取り残されることはないよう『創意工夫』を心がけ、利用者の立場になって考えながら行動をしてきた。

また、職員が最高の財産であることを念頭に、職員一人ひとりへの声かけを積極的に行い、「気持ちよく働く」職場環境づくりと、「何でも話せる」職場雰囲気づくりを目指しながら、以下の年度目標を掲げ業務を行った。

**【年度目標①】管理業務で必要となる知識や技術を身につけるため自己研鑽に励む。**

(取組み) 永光荘で毎月行われる管理部会議に出席し日常業務の問題点などについて、対応策を協議・検討しながら業務を進めた。

人事考課に関する法人研修会に参加し、対応方法などを研鑽した。

外部研修に参加し、その内容を同部署職員と共有することができた。

(評価) 腰痛予防対策など労働衛生に関する研修会に参加することができ、同部署や施設職員へ情報を共有することができた。

今後も、永光荘管理部と業務上の問題点や課題などを共有しながら業務を進めたい。

**【年度目標②】腰痛予防にラジオ体操の実践と、健康増進のため禁煙を呼びかける。**

(取組み) 毎日ラジオ体操を全職員で行い、腰痛予防を心がける。

(評価) 自身の業務動作や姿勢を見直すこと、また体操等の運動を日常的に継続することで、数人の職員が腰痛を緩和することができた。

来年度も減煙や禁煙を呼びかけて、職員の健康増進に努めていきたい。

**【年度目標③】省エネや環境保全に努め、基本電力「110kw」以下に抑える。**

(取組み) 日常的にデマンドシステムの確認を行い、アラームが鳴ると各部署に呼びかけ、エアコン等の電源オンオフを実施してきたが、夏季に目標を1kw超える「111kw」になってしまった。

アラーム鳴動が多く、業務に支障をきたすため、鳴動開始のデマンド設定値を110kwから115kwに変更した。

(評価) 今年度の夏は、例年よりも暑い日が続き、空調の温度調節だけでは、凌げなかつた。

来夏もグリーンカーテン等を作成し、暑さ対策を行っていきたい。

令和2年度も、各部署と連携を密に取りながら、施設職員が“働きやすい”と思える、職場環境の「保全」に努めていく。

なお、年度目標以外の取組みとして、以下を実施した。

(1) 職員健康診断等状況

1. 職員健康診断状況

|               |                |
|---------------|----------------|
| 令和 元年 6月 7日   | 68人 (全体職員健診)   |
| 令和 元年 12月 13日 | 25人 (夜勤従事職員健診) |

2. 職員インフルエンザ予防接種状況

|                    |                |
|--------------------|----------------|
| 令和 元年 11月 25日と 28日 | 69人 (全体職員予防接種) |
|--------------------|----------------|

3. ストレスチェック実施状況

|                   |       |
|-------------------|-------|
| 令和 元年 11月 24日～30日 | 52人受検 |
|-------------------|-------|

(2) 施設不在者投票・期日前投票（特別養護老人ホーム利用者）

1. 令和 元年度 参議院議員選挙

|              |          |   |          |
|--------------|----------|---|----------|
| 令和 元年 7月 17日 | 不在者投票 0人 | ・ | 期日前投票 7人 |
|--------------|----------|---|----------|

(3) 「洪水時の避難確保計画」（水災害に関する対応マニュアル）の提出。

令和 2年 3月 6日 渋川市危機管理室危機管理係へ提出した。

※令和2年度中に、水災害に関する訓練の計画及び実施を行う。

### 3. 特養部

令和元年度、特養部は事業計画の目標を達成するため、以下の取組みを実施した。

**【年度目標①】特別養護老人ホームベッド稼働率97%とする。**

- (取組み) 利用者の状態と家族意向を確認し、入退院調整や看取りを行った。  
年間を通じて延べ入院者が13人、退所者が13人だった。  
退所者のうち10人を施設で看取った。
- (評価) 特養のベッド稼働率は95.8%で、年度の目標を達成することができなかった。  
年末年始にかけて5人の退所者が続けて発生したことで、新規入所の調整に時間がかかり、それに伴い長期間の空床ができたことと、年間を通して長期入院者が2人いたことによる空床等が影響した。  
なお、入退所状況は「表3-1」に、ベッド稼働率の月別の推移は、「表3-3」に、要介護度の状況は「表3-4」にそれぞれ示す。

**【年度目標②】喀痰吸引等研修（第二号）を開催する。**

- (取組み) 3人の指導看護師が講師となり、介護職員に対し、講義・演習・実地研修を実施した。
- (評価) 1人が認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けることができた。現在、2人が講義・演習を受講中で、1人が実地研修中である。

**【年度目標③】認知症サポーター養成講座を開催する。**

- (取組み) 5月30日に赤城南中学校2年生職場体験、8月29日に赤城北中学校2年生職場体験の中で、認知症サポーター養成講座を合わせて2回開催した。
- (評価) 赤城南中学校2年生と赤城北中学校2年生合わせて6人に対して、認知症サポーターの証であるオレンジリングを渡すことができた。

**【年度目標④】多職種連携による行事等を企画し、組織としての連携を強化する。**

- (取組み) 年間行事計画に基づき、季節に合わせた行事を企画し開催した。  
(開催内容は「表3-6」参照) 食事を提供する行方が多いため、個別の利用者リスクについて、多職種で評価しながら協力や連携を図った。
- (評価) お茶会、食事バイキング、秋祭りなど年間で8回多職種連携による

行事を開催した。組織としてある一定の連携はできたが、今後もより一層強化していくため課題を解決していく。



(昼食バイキング)



(新年祝賀会)

以下、年度目標以外の取組みを示す。

#### (1) 食事委員会

- ①食事介助の基本について
  - ②口腔ケアについて（終末期の方を含む）
  - ③低栄養の方の栄養サポートについて
  - ④食べやすい・本人に合った食事形態について
- それぞれマニュアルの作成や見直しについて実施した。

#### (2) 排泄委員会

- ①ユニット利用者毎の排泄評価による情報交換
- ②生活リズムに合わせた物品の選定とパットのあて方について
- ③皮膚トラブルを防止するケアのポイント
- ④プライバシーを守る排泄ケアについて
- ⑤ノロ対策マニュアルの見直しについて

ユニ・チャームの排泄アドバイザーの協力を得て実施した。  
それぞれマニュアルの作成や見直しについて実施した。

#### (3) リハビリ委員会

理学療法士との連携のもと、日常生活場面の中に個々の心身状況に合わせて作成したプログラムをケアプランと結びつけて実施した。

## 1) 介護課

【年度目標①】人材確保と人材育成の体制づくりを目指す。

【年度目標②】介護職員のレベルアップとモチベーションアップを目指す。

【年度目標③】時代に求められる施設介護職員としての役割の実践を目指す。

(取組み) (A) 介護課職員 2人が介護福祉士実習指導者講習会を修了した。

実習生受入マニュアルと、実習指導者マニュアルを作成した。

新規採用職員に対し、カンファレンスによる目標の設定や介護マニュアルのレクチャーを行った。

(B) 群馬県社会福祉協議会等が主催している研修に介護職員 8人が参加し、ユニットリーダー研修に介護職員 1名が参加した。  
その他、個別の企画（誕生日会等）を実施した。

(C) 食事や認知症研修に参加した介護職員により、介護課会議で研修報告とケア方法のレクチャーを実施した。

2月の外部研修は、新型コロナウイルスの影響で中止となった。

以下ユニットごとの取組み状況である。

### ・のぎくユニット

本人の状態をみながら、臥床、排泄時間の見直しを行い、利用者の過ごしやすい環境づくりを工夫している。

ご家族の意向を聞きながら利用者の生活空間を提供し、その様子を伝えている。

### ・ほおづきユニット

利用者の状態に合わせ、食事や排泄などのサポート情報を共有しながら実施している。

また、生活リズムとその方の大切な時間を意識して関わるようしている。

### ・つくしユニット

生活リズムを意識した食事や排泄を多職種で情報共有し、サポートしている。

### ・すみれユニット

もみじ棟フロアで協力して、レクリエーションを行った。

### ・なでしこユニット

認知症ケアについては、情報を職員間で否定せず共有し、対応することで利用者の不安の解消に繋がるケアができた。

## 2) 看護課

【年度目標①】看護職員のレベルアップとモチベーションアップを目指す。

【年度目標②】時代に求められる施設看護職員としての役割の実践を目指す。

- (取組み) (A) 群馬県看護協会が主催する学会に参加し、看護職員間で伝達研修を実施した。  
(B) 新規採用介護職員に対し、看護課で作成した資料をもとにバイタルサイン等の基本的な知識・技術の指導を実施した。  
(C) 医療機関との連携を図るため、看護サマリーの見直しを実施している。  
(D) 褥瘡の状態を写真撮影やDESIN-Rによる評価をし、統一した処置や褥瘡の発生予防を職員間で連携を図り実施した。  
(E) 利用者ごとの排便コントロール方法の見直しを介護職員と連携し実施した。

(評価) 看護職員間のチームワークが取れ、情報共有ができている。  
また、フォローし合える環境でモチベーションアップに繋がってきている。

まだ取組み途中のものもあるので、引き続き実施していきたい。

### ○入院者状況

入院中の利用者の状態については、家族、入院先病院との連絡・訪問を定期及び随時実施して把握対応した。

施設利用者の入院状況を「表3-7」に示す。

## 4) 栄養調理課

栄養調理課は事業計画の目標を達成するために、以下の取組みを実施した。

【年度目標①】食を通して利用者の喜び・笑顔を作り出し、生き生きとした生活・健康維持をしていく。

(取組み) 利用者の喜び・笑顔を作り出すために、できるだけ形のある料理を提供し、見た目にも楽しんで頂けるような献立作りを心がけた。

(評価) その一例として、以前より導入している「ソフミート」がある。料理ごとに形をアレンジして提供でき、物性が安定しているため同じ柔らかさの料理が提供できる。魚料理を魚らしく・肉料理は肉らしく提供できることで、細かく刻んでしまう料理とは違い、食べやすく、見た目にもこだわることができた。切り方や搾り方の工夫によりバリエーションを増やしている状況である。

調理例：

カマボコ状に蒸し魚の切身



搾り方の工夫鶏肉



また、7月と3月にはバイキングを実施した。

天ぷらや豚肉のピザ風など利用者から見える場所で調理し、大皿に盛りつけた料理を自ら選んで盛り付け、いつもと違う雰囲気での食事を楽しむことができた。普段はペースト食・超キザミの利用者も、常菜の料理を召し上がることができた。

(行事食 「表3-6」を参照)

【年度目標②】利用者の身体状況に対応し、楽しく安全に食事が出来る環境づくりを行う。

(取組み) 作業前に粘着ローラー使用の徹底・見えやすい環境づくり・白衣の取り扱い方法などを再確認し実施した。

(評価) 異物混入は前年度よりは減少している。改善策が定着しつつあるが更なる減少、ゼロに向かい来年度以降も徹底していきたい。

以下、年度目標以外の取組みを示す。

(1) 身体拘束等適正化に関する研修会の開催

令和元年 4月23日、令和元年10月29日の年間2回開催。

※新人職員の入職時にも同研修を実施。

(2) リスクマネジメント委員会の開催 (表2-4参照)

- ① 事故(ヒヤリ・ハット含む)分析とその対応。
- ② 施設環境面(施設内危険箇所の点検)からのリスクマネジメント。
- ③ 事故発生時の対処マニュアルの作成。
- ④ 事故発生の時間と種別を分析とその対応。

### (3) 感染症対策委員会

- ① ノロウイルス感染拡大予防対策及び対応マニュアル見直し。
- ② インフルエンザの予防対策及び対応マニュアル見直し。
- ③ インフルエンザ予防のための湿度管理。
- ④ 施設周辺の感染症流行の情報共有と対応について。
- ⑤ 手洗い励行の呼びかけ、手洗い方法の指導。

### (4) 実習・研修・体験学習受入状況

実習・研修・体験学習の受入状況は、以下のとおりである。

| 実習校名          | 実人数 | 延人数 | 備考          |
|---------------|-----|-----|-------------|
| 渋川市立赤城南中学校    | 5人  | 11人 | 職場体験学習      |
| 吾妻中央高校        | 5人  | 38人 | 介護実習        |
| 渋川市立赤城北中学校    | 2人  | 6人  | 職場体験学習      |
| 群馬パース大学福祉専門学校 | 4人  | 58人 | 介護実習        |
| 高崎健康福祉大学      | 1人  | 24人 | 介護実習        |
| さくらカルチャーセンター  | 2人  | 4人  | 介護職員初任者養成研修 |

### (5) 権利擁護

『権利擁護ネットはあとらんど』との福祉オンブズマン契約を行い、月に一回の訪問により、施設利用者の要望や施設内の環境面についての意見を頂いた。また、口頭による苦情・要望については、その都度見直しを行い、サービスの質の向上に努めた。

苦情受付ボックスによる苦情・要望は0件であった。

## 4. ショートステイ

特養部ショートステイでは、事業計画の目標を達成するため、以下の取組みを実施した。

**【年度目標①】** ショートステイベッド稼働率 97 %を目指す。

- (取組み) ショートステイの空き状況を、医療機関や居宅介護支援事業所に情報提供を行い、27人の新規利用者と契約を行った。  
10月より、感染症についての案内を利用者に配布して、本人や同居ご家族の健康チェックを利用前に行い、施設内へのインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の蔓延を防止した。
- (評価) ショートステイの利用者が他施設（特養清流の郷を含む）に入所したことで発生した空床が影響し、ショートステイベッド稼働率が、年度累計 89.5 %と、目標を達成することができなかつた。

なお、利用状況は「表 4-1」、介護度別利用状況は「表 4-3」に示す。

**【年度目標②】** 基本的ケアのレベルアップを目指す。

- (取組み) 委員会の取組みを中心に基本的ケアのブラッシュアップを行なった。  
歩行ができる利用者のために、歩行器の選定や居室環境の整備を行い、職員間で情報共有を行った。
- (評価) 「また来るね」「利用して良かった」という声が多くあった。

**【年度目標③】** 送迎事故ゼロを目指す。

- (取組み) 作成した送迎マニュアルを基にユニット会議等で、安全運転や運転中のマナーについて職員で共有した。
- (評価) 送迎事故ゼロを達成することができた。

**【年度目標④】** ADL の維持・向上を目的とした、リハビリ体制の構築を目指す。

- (取組み) 集団の活動として、食前の口腔体操を中心に対応している。  
その他、個別の活動として、編み物、裁縫、パッチワーク、農園、洗濯物たたみなどをサポートしている。  
ADL の維持・向上を目的に、生活習慣や本人の動きに合わせた、居室環境づくりを進めている。
- (評価) 集団活動は食前の口腔体操が中心である。個別活動の幅が広がり、利用者個々の楽しみとなっている。

生活習慣や本人の動きに合わせた居室づくりにより、A D Lの維持・向上や転倒リスク軽減につながっている。

【年度目標⑤】医療依存度が高い利用者の受け入れ体制の構築を目指す。

(取組み) 施設内研修を通し、医療依存度が高い方の受入れポイントについて、プラスチックアップを行った。

(評価) ショートステイ職員5人中4人が、認定特定行為業務従事者認定証の交付を受けている。

喀痰吸引等の行為については、体制の維持ができている。

## 5. デイサービス部

デイサービス部は、事業計画の目標を達成するため、以下の取組みを実施した。

### ○介護保険事業

【年度目標①】利用者、ご家族、地域に安心・信頼される充実したサービスを目指す。

(取組み) 医療ニーズの高い利用者の受け入れに伴う、知識や技術力を高め、関連機関との連携を図り、利用者や家族との信頼関係をより深めながら、安らぎのある場所を提供する。

(評価) 各機関・家族共に密に連絡・連携をとり、利用者のニーズに対応し取組むことができた。

また、密に連携・連絡を取ったことで、より信頼関係を得ることができ、利用者確保につなげることができた。

年間延人数 9, 020 人、新規利用者 25 人。

詳細に関しては「表 5-1」「表 5-2」「表 5-3」に示す。

【年度目標②】利用者が住み慣れた地域や生活環境において、可能な限り在宅生活が継続できるよう、個々に必要な機能訓練及び日常生活の援助を行う。

(取組み) 適切なモニタリング・アセスメントを実施して、利用者一人ひとりのニーズを把握し、それに沿った安全で信頼できるサービスを提供する。

(評価) 毎月のモニタリングで、利用者の課題等を検討することができ、より良いサービスが可能になった。

また、個々に必要な機能訓練を実施することができた。

【年度目標③】月延べ利用者数「735 人以上」の確保。

(取組み) 個々の抱える課題に合わせて「介護・リハ」「医療・看護」「保険・予防」の各専門職が一体的にサービス提供できるよう連携し、ケアマネジャーとの連携を強化していく。

また、中重度の受け入れを柔軟に行う。

(評価) 年間延べ利用者目標 9, 020 人、月間延べ利用者目標 752 人で、今年度は月間平均 735 人以上と、目標を達成することができた。

しかし、入院される利用者や他施設へ入所する利用者が見られることから、今後への影響も懸念されるため、より一層各機関との連携を図りながら、柔軟な利用受け入れにつなげていきたい。

今年度は、事前に予防対策を行っていたため、インフルエンザ・ノロウイルス等の感染者は見られなかったことも、利用者数目標達成の大きな要因になった。

#### ○総合事業

【年度目標①】地域包括支援センターとの連携を図り、利用者の自立支援を図る。

(取組み) 生活課題のある利用者を把握し、関係者で情報を共有しながら連携を図っていく。

(評価) 関係者と情報や状態を共有・把握し、より自立支援へ向けた援助ができた。

要介護1から要支援2に1人、要支援者の転倒等の事故もなく、筋力維持につなげることができた。

【年度目標②】月平均実利用者数「14.8人以上」の確保

(取組み) ケアマネジヤーや包括支援センターとの連携を図り、新規利用者の受け入れにつなげた。

(評価) 令和元年度は、月平均実利用者数13人と、目標達成できなかった。要支援者の利用停止、要支援から要介護へ変更になった方もみられ、年間を通しての、新規の問い合わせも減少した。

各機関との連携を図ったが、新規利用者数は年間10人であった。

(前年度の実利用者数は15人)

詳細に関しては「表5-4」に示す。

## 1) 介護課

【年度目標①】専門職としてのスキルアップを図る。

- (取組み) 現場の実践に生かせるよう職員の研修の参加を実施。  
入浴、排泄などの介護技術、知識の基本を再度確認し実践するため  
全体会議において担当職員の講習会を実施。
- (評価) 排泄介助や機械浴対応など、可能な限り職員が各々対応できるよう、  
ベテラン職員による指導を基に、取組むことができた。  
会議で各委員会からの研修会を実施し、実践につなげることができた。

【年度目標②】安全運転の厳守、事故を「ゼロ」にする。

- (取組み) 交通法規厳守し安全運転、安全確認、利用者への声掛けをしっかりと  
行っていく。  
安全運転講習に参加し、技術・知識を修得する。
- (評価) 事故件数は人身事故0件、物損事故が2件であり、達成することができなかつたが、委員会を中心に、再度情報を集め危険個所認知を行い、事故防止につなげることができた。また講習会に参加し全体会議で研修を行い、安全運転・安全確認を再確認できた。

## 2) 看護課

【年度目標①】医療情報に基づく対応、連携をしていく。

- (取組み) 他職種との連携強化、協力に努め、既往歴を把握し異常の早期発見に務める。
- (評価) 利用者の医療情報を把握し、看護を中心に医療関係とも随時連携・情報を確認して取組み、早期発見につなげることができた。

【年度目標②】筋力アップ効果の高いトレーニングを継続していく。

- (取組み) 生活リハビリを中心に、意欲向上を目指し、常に在宅支援の視点で援助と、個々の状態に応じた機能訓練を実施する。
- (評価) 月に1回、群馬リハビリテーション病院の理学療法士による診察で、個々に必要なリハビリプログラムを作成し、看護職員中心にリハビリを実施した。  
その結果、車いすからシルバーカーを使用して、歩行ができるまでになった利用者もみられた。  
筋力低下のためのグループリハを実施し、予防に努めることができた。

## 6. 付表

(表2－1) 施設整備等実施状況

単位：千円

| 項目    | 内 容               | 備 考   |          |          |
|-------|-------------------|-------|----------|----------|
| 設備の設置 | 特養 物置（廃棄オムツ収納用）1式 | 平成31年 | 4月       | 5日設置 195 |
| 設備の更新 | 特養 ガス給湯器 1式       | 令和元年  | 9月30日更新  | 499      |
| 設備の更新 | デイ ガス給湯器 1式       | 令和元年  | 9月30日更新  | 499      |
| 備品の購入 | デイ ダイニングテーブル 2台   | 令和元年  | 10月25日納品 | 200      |
| 設備の更新 | 特養 自動水栓電気温水器 1式   | 令和元年  | 10月25日更新 | 137      |
| 設備の更新 | 特養 スチームコンベクション 1式 | 令和元年  | 11月20日更新 | 1,277    |
| 設備の更新 | 特養 全自動軟水器 1式      | 令和元年  | 11月29日更新 | 165      |
| 設備の設置 | デイ 洗面化粧台（職員玄関） 1式 | 令和元年  | 11月29日設置 | 189      |
| 設備の更新 | 特養 自動水栓電気温水器 1式   | 令和2年  | 1月20日更新  | 137      |
| 備品の購入 | 特養 超低床ベッド 1台      | 令和2年  | 1月29日納品  | 264      |
| 備品の購入 | 特養 バスリフト 1台       | 令和2年  | 3月16日納品  | 222      |
| 備品の購入 | 特養 給食献立ソフトウェア 1式  | 令和2年  | 3月16日納品  | 694      |
| 備品の購入 | 特養 マッスルスーツ 1台     | 令和2年  | 3月25日納品  | 150      |

(表2－2) 施設外研修と会議

出席件数（人数）

| 職 種        | 部会・定例会・会議 | 一般研修     | 県外研修   |
|------------|-----------|----------|--------|
| 施設長        | 28 (28)   | 9 ( 9)   | 0 ( 0) |
| 特養相談員      | 9 ( 9)    | 8 ( 8)   | 0 ( 0) |
| デイ相談員      | 3 ( 3)    | 3 ( 3)   | 0 ( 0) |
| 介護職員       | 7 (12)    | 25 ( 48) | 1 ( 2) |
| 看護職員       | 0 ( 0)    | 3 ( 3)   | 0 ( 0) |
| 栄養調理・管理部職員 | 1 ( 1)    | 10 ( 10) | 0 ( 0) |

(表2-3) 会議の実施状況

| 会議名          | 実施回数 | 平均出席 | 参加職種                                  | 会議の内容                  |
|--------------|------|------|---------------------------------------|------------------------|
| 法人運営会議       | 12   | 4    | 理事長、業務執行理事、施設長、事務長                    | 法人各事業の運営・管理及び法人懸案事項の決定 |
| 部長会議         | 12   | 4    | 施設長、生活相談員、管理課長                        | 施設各事業の運営・管理及び施設懸案事項の決定 |
| 代表者会議        | 12   | 8    | 理事長、施設長、生活相談員、ケアマネ、看護係長、栄養士、調理係長、管理課長 | 各部門懸案事項の審議、方針の徹底等      |
| 衛生委員会        | 12   | 9    | 施設長、衛生委員、産業医                          | 労務の安全性と職員の健康保持促進の検討・啓蒙 |
| リスクマネジメント委員会 | 12   | 9    | 施設長、リスクマネジメント委員                       | 事故分析、環境整備、マニュアルの見直し    |
| 感染症対策委員会     | 12   | 9    | 施設長、感染症対策委員                           | 感染症に対する対策について協議・検討     |
| 入所等検討委員会     | 12   | 10   | 施設長、特養相談員、第三者委員、ケアマネ、介護・看護職員、栄養士      | 施設利用待機者の入所順序を審議・検討     |
| サービス担当者会議    | 12   | 9    | 施設長、ケアマネ、特養相談員、特養介護・看護職員、栄養士          | 利用者ケアプラン作成、モニタリングなど    |
| 褥瘡対策委員会      | 12   | 9    | 施設長、特養相談員、ケアマネ、特養介護・看護職員、栄養士          | 褥瘡予防、対応方法の検討、マニュアルの見直し |
| ユニットリーダー会議   | 12   | 8    | 施設長、特養相談員、ケアマネ、介護課長、ユニットリーダー          | ユニット介護サービス懸案事項の協議・検討   |
| 特養介護課会議      | 12   | 21   | 施設長、特養相談員、特養介護職員                      | 介護サービス懸案事項の協議・研修       |
| デイサービス全体会議   | 12   | 18   | 施設長、デイ相談員、デイ介護職員、デイ看護職員               | デイサービス懸案事項の協議・研修       |
| 栄養調理課会議      | 12   | 8    | 施設長、栄養士、調理職員                          | 栄養調理課内の諸事項の協議・研修       |
| 排泄委員会        | 12   | 6    | 施設長、特養相談員、排泄委員、メーカー アドバイザー            | 排泄介助のための協議・検討と実施、反省    |
| 栄養委員会        | 12   | 6    | 施設長、特養相談員、栄養士、栄養委員                    | 給食に関する事項審議、行事食、処遇改善策   |
| 食事委員会        | 12   | 8    | 施設長、特養相談員、管理栄養士、栄養士、食事委員              | 食事に関する事項審議、食事介助及び処遇改善  |
| 秋祭り実行委員会     | 7    | 8    | 施設長、生活相談員、実行委員                        | 秋祭り企画・運営、反省            |
| 防災管理委員会      | 12   | 8    | 施設長、防災委員、訓練参加職員、消防署職員                 | 防災計画、訓練実施と反省、安全管理と点検   |

「実施回数」は、年間の会議回数を表し、「平均出席」は、会議への平均参加人数を表す。

(表2-4) 職員の配置状況

|                  | 特別養護老人ホーム |                            |                            | デイサービス   |                            |                            |
|------------------|-----------|----------------------------|----------------------------|----------|----------------------------|----------------------------|
|                  | 人<br>数    | 年<br>齢<br>(<br>平<br>均<br>) | 勤<br>続<br>(<br>平<br>均<br>) | 人<br>数   | 年<br>齢<br>(<br>平<br>均<br>) | 勤<br>続<br>(<br>平<br>均<br>) |
| 施設長              | 1         | 54                         | 3.0                        | (1)      |                            |                            |
| 事務職員             | 2         | 56                         | 12.0                       | (2)      |                            |                            |
| 生活相談員            | 1         | 42                         | 12.0                       | 1<br>(5) | 45                         | 5.1                        |
| 介護支援専門員          | (2)       |                            |                            |          |                            |                            |
| 介護職員<br>(非常勤)    | 26<br>6   | 46<br>41                   | 8.0<br>4.7                 | 8<br>5   | 45<br>64                   | 8.8<br>6.8                 |
| 看護職員<br>(非常勤)    | 4<br>1    | 52<br>41                   | 6.4<br>6.5                 | 3<br>1   | 56<br>75                   | 6.5<br>11.0                |
| 機能訓練指導員<br>(非常勤) |           |                            |                            | 1        | 29                         | 3.0                        |
| 栄養士              | 1         | 27                         | 0.3                        | (1)      |                            |                            |
| 調理職員<br>(非常勤)    | 5         | 39                         | 5.4                        | (5)      |                            |                            |
| 医師<br>(非常勤)      |           |                            |                            |          |                            |                            |
| 清掃洗濯職員<br>(非常勤)  | 2<br>4    | 61<br>55                   | 11.2<br>5.6                |          |                            |                            |
| 合計 常勤            | 40        | 45                         | 7.8                        | 12       | 49                         | 6.8                        |
| 合計 (非常勤)         | 14        | 49                         | 8.0                        | 7        | 56                         | 6.9                        |

( ) は兼務

令和 2年 3月31日現在

・特養介護支援専門員は、介護職員が兼務

・デイ生活相談員は、デイ介護職員が兼務

兼務者は合計から外す

年齢、勤続の合計は平均

(表2-5) 職員の資格取得状況

(単位：人)

|           |       | 社会福祉士 | 介護福祉士 | 介護支援専門員 | 看護師 | 准看護師 | 管理栄養士 | 栄養士 | 調理師 | 認定特定行為業務<br>(喀痰吸引)従事者 | 介護職員基礎研修 |
|-----------|-------|-------|-------|---------|-----|------|-------|-----|-----|-----------------------|----------|
| 特<br>養    | 生活相談員 | 1     | 1     | 1       |     |      |       |     |     |                       |          |
|           | 介護職員  |       | 25    | 3       |     |      |       |     |     | 22                    | 4        |
|           | 看護職員  |       |       |         | 4   | 1    |       |     |     |                       |          |
| デ<br>イ    | 生活相談員 |       | 1     |         |     |      |       |     |     |                       |          |
|           | 介護職員  |       | 7     | 1       |     | 1    |       |     |     | 1                     |          |
|           | 看護職員  |       |       |         |     | 4    |       |     |     |                       |          |
| 栄<br>養    | 栄養士   |       |       |         |     |      |       | 1   |     |                       |          |
|           | 調理職員  |       |       |         |     |      |       | 1   | 4   |                       |          |
| 令和 元年度 合計 |       | 1     | 34    | 5       | 4   | 6    | 0     | 2   | 4   | 23                    | 4        |
| 平成30年度 合計 |       | 1     | 36    | 5       | 4   | 5    | 1     | 2   | 5   | 26                    | 5        |

重複資格取得者あり

令和 2年 3月31日現在

(表3-1) 特養 入退所状況

( ) は前年度人数

|    | 実利用者数   | 入所者数   | 退所者数    |
|----|---------|--------|---------|
| 男  | 13人(15) | 4人(3)  | 6人(6)   |
| 女  | 49人(44) | 10人(6) | 7人(5)   |
| 合計 | 62人(59) | 14人(9) | 13人(11) |

(入所者内訳)

( ) は前年度人数

|   | 病院    | 老人保健施設 | 在宅    | その他   |
|---|-------|--------|-------|-------|
| 男 | 3人(1) | 0人(1)  | 1人(1) | 0人(0) |
| 女 | 3人(2) | 3人(2)  | 2人(2) | 1人(0) |

(退所者内訳)

( ) は前年度人数

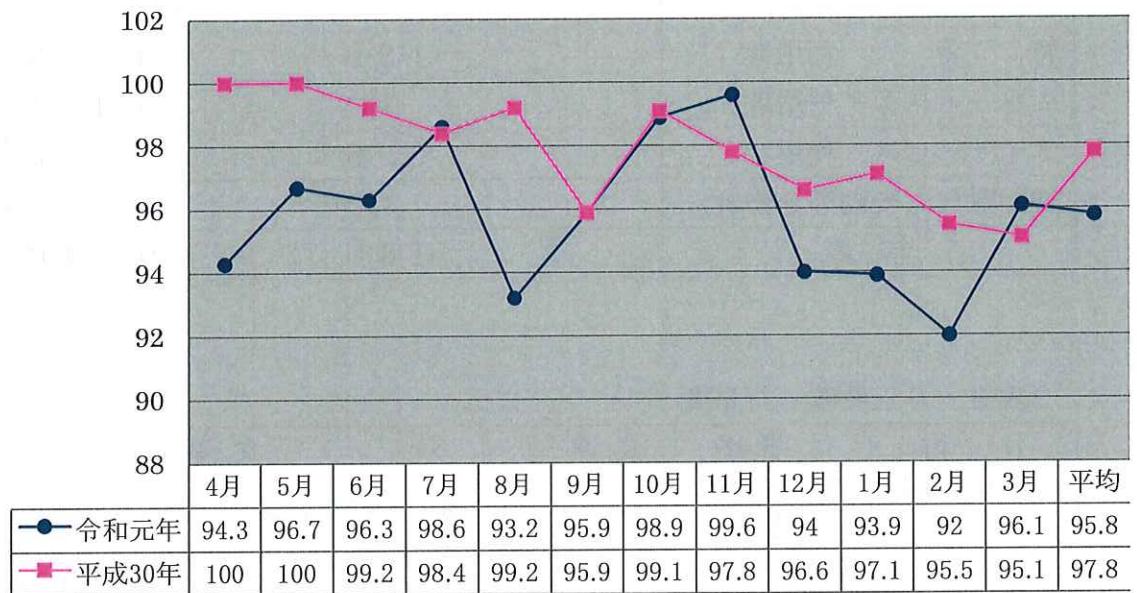
|   | 死 亡   | 長期入院  | 在宅復帰  | その他   |
|---|-------|-------|-------|-------|
| 男 | 3人(6) | 0人(0) | 0人(0) | 3人(0) |
| 女 | 7人(5) | 0人(0) | 0人(0) | 0人(2) |

令和元年度は、死亡10人を施設で看取った。

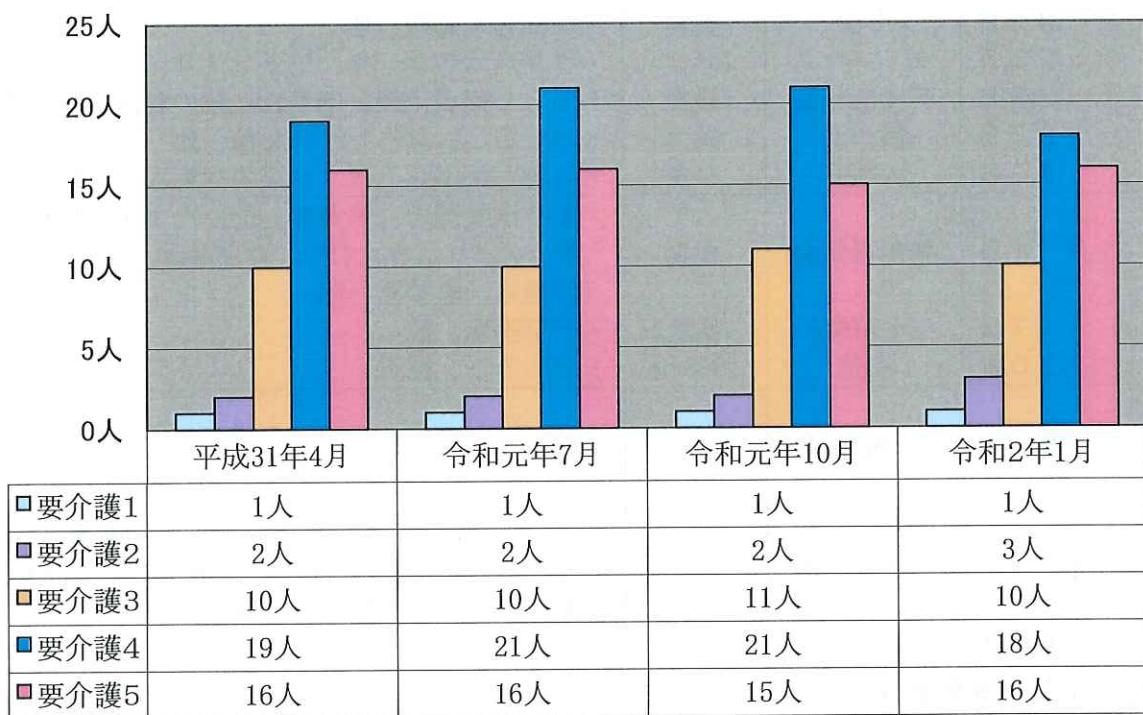
(表3-2) 市町村別(介護保険者)入所者状況

| 渋川市 | 沼田市 |
|-----|-----|
| 61人 | 1人  |

(表3－3) 特養 ベッド稼働率



(表3－4) 特養 要介護度別



(注 上記表は、1日現在の施設在所者の実利用者数である。)

(表3-5) 特養 給食数

(単位：食)

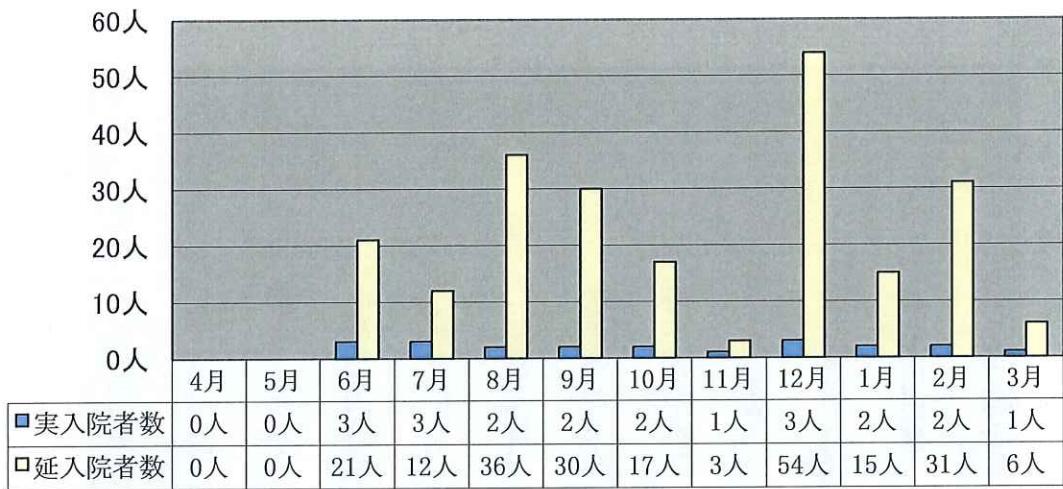
|              | 一日平均食数 | 年間合計        |
|--------------|--------|-------------|
| 特 養 利用者      | 1 3 9  | 5 0 , 8 8 8 |
| ショートステイ利用者   | 1 4    | 5 , 1 2 1   |
| デイサービス 利用者   | 2 6    | 9 , 5 8 6   |
| 特養職員（夜勤等勤務者） | 1 0    | 3 , 7 1 5   |
| 合 計          | 1 8 9  | 6 9 , 3 1 0 |

(表3-6) 特養 行事食

| 日 付  | 行 事 名                                     | 食 事                               | 食 事 内 容  |
|--|---|-----------------------------------|--|
| 5月 1日                                      | 端午の節句<br>お茶会                              | おやつ                               | ・柏餅、柏餅風和菓子、スペラカーゼ餅、抹茶  |
| 7月 23日                                     | バイキング                                     | 昼食                                | ・うなぎちらし、天ぷら、豚肉のピザ風、なすのおろしがけ、ポテトサラダ、オクラ、葱味噌、そうめん、水ようかん、ケーキ、他  |
| 8月 13日                                     | お盆  | おやつ                               | ・おはぎ   |
| 9月 8日                                      | 秋祭り                                       | 昼食                                | ・いなり寿司、串揚げ、焼きそば、焼きまんじゅう、かき氷、綿菓子、ポン菓子、南瓜甘煮、漬物、飲み物、他   |
| 12月 18日<br>22日<br>25日<br>26日<br>27日<br>31日 | 忘年会<br>冬至<br>クリスマス<br>デイ忘年会<br>餅つき<br>大晦日 | 昼食<br>昼食<br>おやつ<br>昼食<br>昼食<br>夕食 | ・けんちん、刺身、うどん、ほうれん草のお浸し、他<br>・かぼちゃ御飯、他<br>・クリスマスケーキ、シャンメリ一<br>・ちらし寿司、鍋、ほうれん草のお浸し、漬物、他<br>・おしるこ、おろし、きな粉、他<br>・年越し天ぷらそば、白菜の胡麻和え、他 |
| 1月 1日<br>7日<br>10日                         | 新年祝賀会<br>七草粥<br>初釜                        | 昼食<br>朝食<br>おやつ                   | ・ぶり照り焼き、豚角煮、紅白なます、黒豆、雑煮、栗きんとん、きんぴら、紅白蒲鉾、昆布巻、みかん、伊達巻、里芋煮、他<br>・七草粥風、他<br>・おしるこ、抹茶   |
| 2月 3日                                      | 節分  | おやつ                               | ・鬼プリン  |
| 3月 4日<br>18日                               | バイキング<br>お彼岸                              | 昼食<br>おやつ                         | ・ちらし寿司、天ぷら、鶏肉のふき味噌焼き、ポテトサラダ、菜の花の白和え、茶碗蒸し、たけのこの土佐煮、ケーキ、桜もち、他<br>・ぼたもち   |

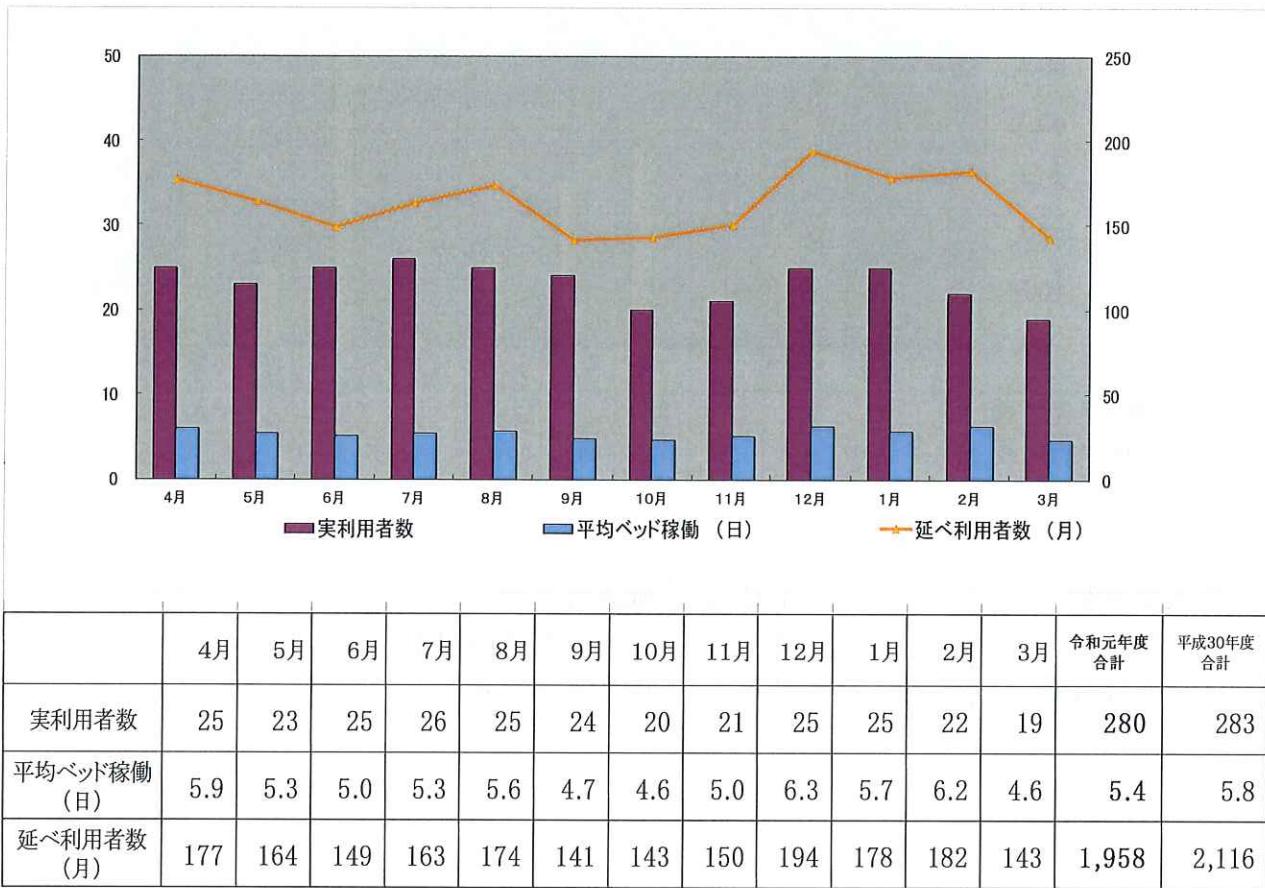
- ・毎月1日は赤飯提供
- ・デイサービスは毎月誕生会を企画（ケーキの提供）

(表3－7) 特養 月別 入院者推移



|        |      |          |       |
|--------|------|----------|-------|
| 実入院者数  | 10人  | 延入院者数    | 13人   |
| 延入院日数  | 306日 | 一人平均入院日数 | 23.5日 |
| 最長入院日数 | 88日  | 最少入院日数   | 2日    |

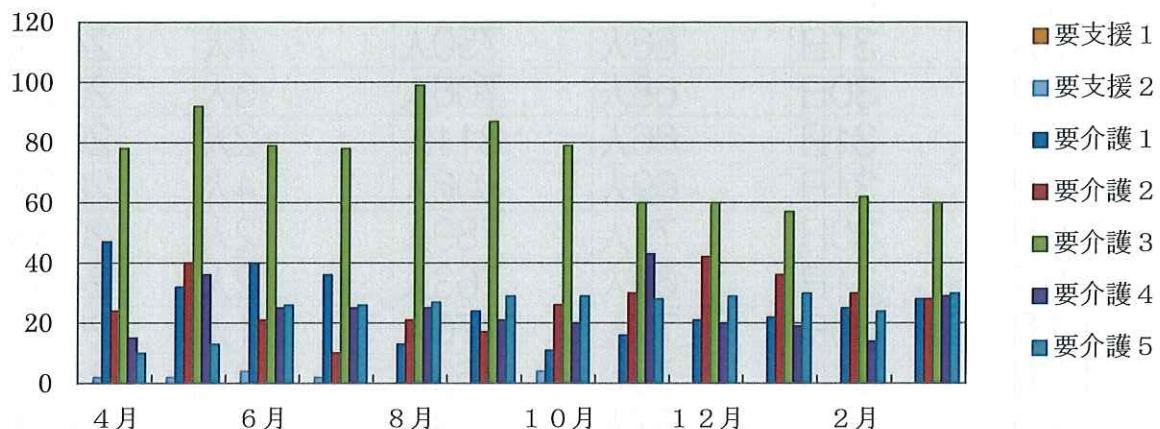
(表4－1) ショートステイ 月別 利用者推移



(表4－2) ショートステイ 年度別 利用者推移

|        | 実利用者数 | 延べ利用者数 | 平均稼働   | 平均ベッド |
|--------|-------|--------|--------|-------|
|        |       |        | ベッド(日) | 稼働率   |
| 平成26年度 | 306人  | 2,138人 | 5.9(日) | 97.6% |
| 平成27年度 | 319人  | 2,139人 | 5.8(日) | 97.4% |
| 平成28年度 | 298人  | 2,089人 | 5.7(日) | 95.4% |
| 平成29年度 | 264人  | 1,981人 | 5.4(日) | 90.5% |
| 平成30年度 | 283人  | 2,103人 | 5.8(日) | 96.0% |
| 令和元年度  | 280人  | 1,965人 | 5.4(日) | 89.5% |

(表4-3) ショートステイ 月次介護度別 延べ利用者数



|      | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  | 1月   | 2月   | 3月   | 令和元年度  | 平成30年度 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|--------|
| 要支援1 | 4人   | 4人   | 7人   | 4人   | 4人   | 6人   | 4人   | 6人   | 4人   | 4人   | 4人   | 4人   | 55人    | 5人     |
| 要支援2 | 6人   | 6人   | 6人   | 5人   | 0人   | 0人   | 0人   | 0人   | 11人  | 7人   | 10人  | 7人   | 58人    | 71人    |
| 要介護1 | 33人  | 45人  | 32人  | 28人  | 34人  | 21人  | 30人  | 14人  | 25人  | 51人  | 20人  | 4人   | 337人   | 430人   |
| 要介護2 | 39人  | 37人  | 37人  | 44人  | 49人  | 46人  | 37人  | 40人  | 69人  | 61人  | 68人  | 55人  | 582人   | 570人   |
| 要介護3 | 44人  | 52人  | 66人  | 78人  | 76人  | 63人  | 43人  | 60人  | 53人  | 24人  | 35人  | 44人  | 638人   | 526人   |
| 要介護4 | 52人  | 20人  | 2人   | 10人  | 13人  | 5人   | 25人  | 30人  | 32人  | 31人  | 45人  | 26人  | 291人   | 200人   |
| 要介護5 | 0人   | 0人   | 0人   | 0人   | 0人   | 0人   | 4人   | 0人   | 0人   | 0人   | 0人   | 0人   | 4人     | 314人   |
| 合計   | 178人 | 164人 | 150人 | 169人 | 176人 | 141人 | 143人 | 150人 | 194人 | 178人 | 182人 | 140人 | 1,965人 | 2,116人 |

(表5－1) デイサービス 月別 利用者状況

|     | 営業日数 | 実利用者数 | 延べ利用者数 | 新規利用者数 | 平均利用者数 |
|-----|------|-------|--------|--------|--------|
| 4月  | 30日  | 62人   | 727人   | 0人     | 24.2人  |
| 5月  | 31日  | 66人   | 750人   | 4人     | 24.2人  |
| 6月  | 30日  | 68人   | 706人   | 3人     | 23.5人  |
| 7月  | 31日  | 66人   | 811人   | 2人     | 26.1人  |
| 8月  | 31日  | 69人   | 806人   | 4人     | 26.0人  |
| 9月  | 30日  | 71人   | 789人   | 2人     | 26.3人  |
| 10月 | 31日  | 69人   | 763人   | 2人     | 24.6人  |
| 11月 | 30日  | 71人   | 776人   | 1人     | 25.9人  |
| 12月 | 31日  | 70人   | 758人   | 3人     | 24.5人  |
| 1月  | 31日  | 67人   | 733人   | 1人     | 23.6人  |
| 2月  | 29日  | 62人   | 665人   | 2人     | 23.0人  |
| 3月  | 31日  | 62人   | 736人   | 1人     | 23.7人  |
|     | 366日 | 803人  | 9,020人 | 25人    | 24.6人  |

(表5－2) デイサービス 年度別 利用者数推移

|        | 営業日数 | 実利用者数 | 延べ利用者数 | 1日平均利用者数 | 1日目標数 | 平均稼働率   |
|--------|------|-------|--------|----------|-------|---------|
| 平成26年度 | 365日 | 922人  | 9,022人 | 24.7人    | 24.0人 | 103.00% |
| 平成27年度 | 365日 | 878人  | 9,003人 | 24.6人    | 24.5人 | 100.40% |
| 平成28年度 | 365日 | 897人  | 9,582人 | 26.2人    | 24.5人 | 107.00% |
| 平成29年度 | 365日 | 857人  | 9,257人 | 25.4人    | 26.0人 | 97.70%  |
| 平成30年度 | 365日 | 815人  | 9,027人 | 24.7人    | 26.5人 | 98.98%  |
| 令和元年度  | 366日 | 803人  | 9,020人 | 24.6人    | 24.5人 | 100.40% |

(表5－3) デイサービス 年度介護度別 利用者推移

|        | 要介護1   | 要介護2   | 要介護3   | 要介護4  | 要介護5  | 合 計    |
|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|
| 平成26年度 | 4,190人 | 2,587人 | 1,203人 | 449人  | 593人  | 9,022人 |
|        | 46.44% | 28.67% | 13.33% | 4.98% | 6.57% | 100%   |
| 平成27年度 | 3,902人 | 3,064人 | 1,067人 | 510人  | 460人  | 9,003人 |
|        | 43.34% | 34.05% | 11.85% | 5.66% | 5.10% | 100%   |
| 平成28年度 | 4,160人 | 3,088人 | 1,406人 | 620人  | 308人  | 9,582人 |
|        | 43.41% | 32.23% | 14.67% | 6.47% | 3.22% | 100%   |
| 平成29年度 | 4,055人 | 3,211人 | 1,002人 | 618人  | 371人  | 9,257人 |
|        | 43.80% | 34.69% | 10.82% | 6.68% | 4.01% | 100%   |
| 平成30年度 | 3,549人 | 3,178人 | 937人   | 563人  | 800人  | 9,027人 |
|        | 39.32% | 35.20% | 10.38% | 6.24% | 8.86% | 100%   |
| 令和元年度  | 3,315人 | 3,132人 | 1,220人 | 506人  | 847人  | 9,020人 |
|        | 36.75% | 34.72% | 13.53% | 5.61% | 9.39% | 100%   |

(表5－4) デイサービス総合事業(介護予防) 月別利用状況

|          | 営業日数 | 実利用者数 | 延べ利用者数 | 新規利用者数 | 平均利用者数 |
|----------|------|-------|--------|--------|--------|
| 4月       | 30日  | 15人   | 100人   | 1人     | 3.3人   |
| 5月       | 31日  | 15人   | 109人   | 1人     | 3.5人   |
| 6月       | 30日  | 15人   | 88人    | 人      | 2.9人   |
| 7月       | 31日  | 15人   | 89人    | 2人     | 2.9人   |
| 8月       | 31日  | 11人   | 63人    | 人      | 2.0人   |
| 9月       | 30日  | 9人    | 55人    | 人      | 1.8人   |
| 10月      | 31日  | 11人   | 68人    | 2人     | 2.2人   |
| 11月      | 30日  | 13人   | 82人    | 2人     | 2.7人   |
| 12月      | 31日  | 13人   | 83人    | 人      | 2.7人   |
| 1月       | 31日  | 13人   | 75人    | 人      | 2.4人   |
| 2月       | 29日  | 13人   | 75人    | 1人     | 2.6人   |
| 3月       | 31日  | 12人   | 74人    | 1人     | 2.4人   |
| 令和元年度合計  | 366日 | 155人  | 961人   | 10人    | 2.6人   |
| 平成30年度合計 | 365日 | 183人  | 1,146人 | 23人    | 3.1人   |

(表5-5) デイサービス 年間行事

| 月   | 行事名   | 内 容                    |
|-----|-------|------------------------|
| 4月  | お花見   | 敷島公園や子持運動公園等で桜の花見      |
| 5月  | 日帰り旅行 | 前橋方面へ3班に分かれて外出         |
| 6月  |       |                        |
| 7月  | 七 夕   | 七夕飾りを作成し、交流ホールへ設置      |
| 8月  |       |                        |
| 9月  | 秋祭り   | 長寿と豊作を祈り、清流神社のお祭りを実施   |
| 10月 | 日帰り旅行 | 沼田方面へ3班に分かれて外出         |
| 11月 | 作品展   | 日々のデイで作った作品や個人の作品を展示   |
| 12月 | 忘年会   | デイホールで忘年会を実施           |
| 1月  | 初 詣   | 絵馬を作成し、清流神社へのお参り       |
| 2月  | 節 分   | 無病息災を祈り、豆まきを実施         |
| 3月  | 運動週間  | 1年間のレクリエーションの総まとめとして実施 |

5月、7月、10月、12月の26日を「風呂（フロ）の日」として、菖蒲湯やゆず湯などイベント浴を実施しており、ご利用者にも好評であった。

※新型コロナウイルス流行により、地元小中学校の卒業式が縮小となったことから、午後の余暇時間などを活用して、職員と利用者で一緒に作成した「お花飾り」を数百個、津久田小学校と赤城北中学校へ、卒業祝いとして寄贈した。

## 7. 整備関係整備年表

|             |        |                         |
|-------------|--------|-------------------------|
| 2008(平成20)年 | 12月12日 | 2階介護室間仕切りパーテーション設置工事完了  |
| 2009(平成21)年 | 1月15日  | デイフロアアコードイオンカーテン設置工事完了  |
|             | 3月13日  | 2階吹抜け手すり改修工事完了          |
| 2010(平成22)年 | 3月12日  | PHS中継アンテナ増設工事完了         |
|             | 8月25日  | デイ利用者用下駄箱設置             |
|             | 11月10日 | 地デジチューナー設置              |
| 2011(平成23)年 | 3月2日   | 非常灯蓄電池交換完了              |
|             | 3月24日  | 自家発電機1台導入（計画停電吸引機対応）    |
|             | 11月22日 | 加湿空気清浄機（10台）導入          |
| 2012(平成24)年 | 9月4日   | ガスマーター交換                |
|             | 12月28日 | 自家発電始動用蓄電池交換            |
| 2013(平成25)年 | 3月8日   | 非常灯蓄電池交換完了              |
|             | 3月18日  | 正面玄関天井漏水修繕工事完了          |
|             | 7月9日   | PHS受信環境改善工事完了           |
|             | 9月24日  | 駐車場車止め移設工事完了            |
|             | 11月27日 | 加圧給水ポンプ基板等修繕工事完了        |
|             | 12月9日  | オゾン脱臭装置修繕工事完了           |
| 2014(平成26)年 | 3月24日  | エレベーター修繕工事完了            |
|             | 4月1日   | 施設建物購入（渋川市からの譲渡による）     |
|             | 4月22日  | 厨房排気装置修繕工事完了            |
|             | 6月20日  | 機械室ガス氣化装置修繕工事完了         |
| 2015(平成27)年 | 2月5日   | 防災行政無線受信機取付工事完了         |
|             | 3月1日   | ユニット改修工事完了              |
|             | 3月1日   | 2階特養防火扉新設工事完了           |
| 2016(平成28)年 | 2月16日  | 正面玄関風除シャッター修繕工事完了       |
|             | 4月13日  | 受水槽表面塗装工事完了             |
|             | 7月20日  | 厨房洗浄室壁面修繕工事完了           |
|             | 9月1日   | 厨房排気装置修繕工事完了            |
| 2017(平成29)年 | 2月15日  | 2階介護職員室洗場更新工事・製氷機移設工事完了 |
|             | 9月12日  | 厨房ガス給湯器更新作業完了           |
| 2018(平成30)年 | 4月9日   | 利用者用給茶機更新作業             |
|             | 9月18日  | Wi-Fi設備設置工事完了           |
| 2019(令和元)年  | 9月30日  | 大型ガス給湯器の更新作業完了          |
|             | 11月20日 | 厨房スチームコンベクション更新作業完了     |
|             | 11月29日 | デイサービス職員玄関用洗面化粧台設置作業完了  |

